

風によって、羽ばたく。

[2019年・夏]



医療法人 仁木会
広報誌 Vol.30

Take Free.
ご自由にお持ちください

心に安らぎのそよ風を。

<http://www.niki-hp.or.jp>



そよ風のてがみ

特集

「新時代の幕開け」

講演会の記録

訪問看護ステーション
クレイン開設

理事長あいさつ

新入職員紹介

できごと

部門紹介

かんたんレシピ

[おからパウダーを使ったレシピ]



● 外来診療のご案内

- ・ 受付時間 / 8:30~11:30, 13:00~16:30
※初めての方は待ち時間解消のため、お電話でご予約ください。
- ・ 診療時間 / 9:00~12:00, 13:00~17:00
※ストレスケア外来・ストレスカウンセリングは、ご予約の上ご来院ください。
- ・ 休診日 / 土・日・祝日
※再来急患の場合は、その限りではありません。

● 診療費のお取扱いについて

[窓口でのお取扱い時間]

- ・ 平日 / 9:00~17:00
※土・日・祝日のお取扱いはしていません。

[口座振替]

ご指定の口座より自動振替による、入院費・日用品代のお支払いができるサービスを行っております。定期的に来院するのが大変な方、遠方からお越しの方等、大変便利なサービスとなっておりますので、ぜひご利用ください。

[クレジット・クイックペイ]

入院費・外来診療料・カウンセリング料のお支払いが可能です。一括払いのみとなります。分割払い・リボ払いはお取扱いしていません。



再来予約専用	電話予約受付時間 (平日のみ)
TEL.090-1779-5326	8:30~12:00
TEL.096-383-7810	13:00~17:00

● 保険証の確認について

- ・ 外来 / 診察毎時 ・ 入院 / 月1回
※窓口での提示をお願いします。

● お問い合わせについて

- 初めての方..... TEL.096-384-3111
- 一般外来..... TEL.096-383-7810
(診察予約・変更・キャンセル) TEL.090-1779-5326
- ストレスケア外来・カウンセリング..... TEL.096-383-4679
(診察予約・変更・キャンセル)
- デイケアに関すること..... TEL.096-384-3151

<医療機関・地域包括支援センター・介護施設のご担当者様へ>
各種お問合せは地域連携室で対応させていただきます。

基本理念

ニキ ハーティールホスピタルは、
患者様の心を癒し、社会で安心して生活が出来るように手助けをします。
患者様、ご家族、地域の方々へ寄り添った、
家庭的で心の通った医療とサービスを提供します。



医療法人 仁木会は
ロアッ熊本を応援しています。



医療法人 仁木会
ニキ ハーティールホスピタル
[精神科・神経科・神経内科]
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目6-100
TEL.096-384-3111



医療法人 仁木会
**訪問看護ステーション
クレイン**
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番70号
さくらコーポ101号
TEL/FAX.096-234-7738



真っ白なキャンバスに描き、 光へ向かって歩むこと。

文 / 理事長 仁木 啓介

新しい時代の始まり

平成から令和に受け継がれ、新たな時代が幕を開けた。平成には阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など多くの災害があったが、ひと時代前の出来事になってしまった。

トラウマをどのように扱うかにより、人は大きく変化する。時が止まっているトラウマを、少しでも時間をすすめることと、現実と辛かったその時との間に線を引く、今が少しでも影響されないようにすることである。それは、忘れてはならない。人生の教訓として、辛いけど忘れてはならないこととして、または普通の記憶の一部として、それぞれの心に納めていくのである。

新たな時代の幕開けは、またとない辛い過去を扱うのに、絶好のチャンスである。苦しいことも、楽しいことも、平成という時代のカプセルに仕舞い、パッケージ化して区切りを付け、令和という、真っ白なキャンバスをもらったあ

なたは、これから自分が好きな絵の具で、どのようなものでも描いて良いのである。真っ青な海や、生き活きとした緑の草原、広大な風景に思いつき虹を描いて良いのである。あなたが光に向かって歩めば、きっと素晴らしい時代を生きていくことができるはずだ。

ニキハーティーホスピタルも新たな時代を迎え、訪問看護ステーションクレインがオープンしました。秋には相談事業所も開設される予定です。スタッフも新たな気持ちで、令和の時代を、皆様のために歩んでいきますので、宜しくお願い致します。



講演会の記録

2016

- 4.26 「職場の輪で乗りきる」
- 4.29 RKK TV「ウェルカム」
- 4.30 リラクゼーションのCD提供
- 5.5 足つぼマッサージ
- 5.15 RKK ラジオ「サンデードクターズサロン」
- 5.20 被災した職員へのメンタルケア対応 / 初期対応
- 5.21 熊本地震セルフケア講習会
- 5.22 G-TEP 研修会
- 5.22 「災害後の心の安定を目指したケアのあり方」
- 5.23 支援スタッフへの支援と被災者支援、職場でのセルフケア
- 6.1 訪問・視察
- 6.10 日本EMDR学会学術大会熊本地震報告
- 7.2 「学校で取り組める被災後子ども達のこころのケア」
- 7.2 「災害の初期、中期に行う子どもの心のケア」
- 7.3 「子どもの心のケアと被災した支援者のセルフケア」
- 7.3 「災害初期、中期に行う子どものこころのケア」
- 7.7 「災害後のメンタルヘルスケア対応」
- 7.8 「こどものメンタルヘルスケア対応」、「職場でのセルフケア」
- 7.9 「被災した職員及び家族へのメンタルケア」

- 7.10 「対人支援職に就くためのプレインジム」
- 7.20 「職場でのセルフケア」
- 8.3 「教職員のメンタルヘルス / セルフケアを中心に」
- 8.18-20 東日本大震災・熊本地震 被災児童招待キャンプ(宇都)
- 9.1 「震災による心の影響と理解 / こどもといっしょに」(宇城市)
- 9.3 「熊本地震災害における親と子どものトラウマケア」(高森町)
- 9.17 第1回G-TEP研修会(熊本)
- 9.18-19 熊本地震対策セルフケアセミナーTFTアルゴリズム
- 10.1 熊本地震対策公開セミナー / 発達に気になる子どもの理解と支援(阿蘇市)
- 10.6 熊本地震対策公開セミナー / こころのケアについて(八代市)
- 10.16 「地震後の心のケアとスポーツについて」(阿蘇郡市)
- 10.30 RKKラジオ放送「サンデードクターズサロン」
- 11.9 「被害者の心のケアと支援者のセルフケア」
- 11.19 第2回G-TEP研修会(和歌山)
- 11.20 G-TEP 安定化研修会(和歌山)
- 11.20 被害者及び南海トラフ地震対策一般向け研修会
- 11.23 第2回災害時の心のケア研修会
- 12.10 「トラウマ反応と回復支援」
- 12.11 「トラウマ反応と回復への支援」

2017

- 1.14 熊本地震による心のケア
- 2.5 第3回災害時の心のケア研修会(熊本県)
- 2.7 「子どもの扱い方とトラウマへの対応」(熊本市教育委員会)
- 2.11 R-TEP および 安定化の技法研修会(名古屋)
- 2.12 第3回G-TEP研修会(名古屋)
- 2.25 熊本地震での「心のケア対策」活動報告
- 3.19 RKKラジオ放送「サンデードクターズサロン」
- 3.25-26 熊本地震対策TFT研修会(パートナー、アルゴリズム、診断レベル)
- 4.8 第4回G-TEP研修会(東京)
- 5.8 テレビ熊本「医療大百科」
- 6.23 「PTSDの理解」
- 7.8 第5回G-TEP研修会
- 8.18-19 東日本大震災・H28年熊本地震 被災児童招待キャンプ(阿蘇)
- 8.26-27 益城町メンタルヘルス講習会
- 9.13 熊本地震対策公開セミナー
- 9.27 メンタルヘルス講習会
- 10.9 ASDの記憶特性とトラウマ治療
- 12.16 BASIC: Phを通してみるトラウマケア

2018

- 1.8 子どもの感情コントロールと心理臨床
 - 2.4 第二回G-TEP実践演習
 - 6.17 プレインジムホール(横浜)
 - 8.17-19 東日本大震災・H28熊本地震 被災児童招待キャンプ(阿蘇)
 - 9.15 西日本豪雨災害支援セミナー(岡山)
 - 10.25 「被災した子ども達の心のケア」
 - 12.15-16 西日本豪雨災害支援セミナー(広島)
- ### 2019
- 3.31 大分災害対策ワークショップ
 - 4.20 「心の安定化」
 - 6.16 プレインジムフォーラム(横浜)
 - 6.28 熊本ライフストーリー研究会
 - 7.6 第2回長崎トラウマ関連症状勉強会(長崎)
 - 7.11 熊本国税局「面接法」
 - 7.28 ストレスマネジメント教育研究会2019(京都)
 - 「トラウマとPTSDの理解と対応」~災害トラウマの対応も学ぶ~

薬剤師 田中 菜々子



入社して4ヶ月程ですが周りの方々のお陰で毎日楽しく働く事ができています。知識不足で至らない部分もありますが、日々学び成長していけたらと思っています。よろしくお願致します。

作業療法士 伊東 真紀子



4月より作業療法士としてお世話になっております。作業や活動を通して、皆様と笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っています。まだまだ不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願致します。

心理士 坂本 遥香



今年の3月下旬から勤務しております。社会人1年目のため、日々学びの連続だと痛感しています。窓口では、温かく笑顔で患者様を迎え入れていきたいと思っています。今年は公認心理師と臨床心理士の資格取得が目標です。頑張ります。

2病棟 / 看護師 吉川 理恵



今年度より2病棟で勤務させていただいております。入社して約2ヶ月が経ち、少しずつ病棟・病院のシステムや雰囲気慣れてきましたが不安ばかりです。これまでの経験を活かし患者様のニーズに対応できるよう努力していきたいです。ご指導よろしくお願いたします。

2病棟 / 准看護師 大塚 りさ



今年度より准看護師として勤務させて頂いております。先輩看護師やスタッフの方々の温かい指導やアドバイスを受け、精神科看護や患者様とのコミュニケーションのあり方について日々学ばせて頂いています。様々な角度から精神科疾患を理解し、看護を提供できるよう、専門職としての探求心を常に持ち頑張ります。

B病棟 / 准看護師 佐伯 佑奈



B病棟でお世話になります。准看護師の佐伯です。まだまだ精神疾患患者様に対し、学習も経験も浅いですが、患者様に寄り添える看護を目指し日々頑張っていきたいと思っています。

閉鎖病棟 / 看護師 柿塚 駿也



まだ、業務を覚えるので必死で、上手く話を聞く事が出来ませんが、幻覚、妄想状態など異常体験をしている患者の訴えを聞き、内容を受け止め、不安などの気持ちが少しでも軽減できるよう傾聴し思いやりの気持ちで接することができる看護師を目指したいです。

閉鎖病棟 / 准看護師 濱田 雄太郎



はじめまして、1病棟で勤務しております濱田雄太郎です。まだ、病棟の業務になれてはいませんが、早く覚えるようにがんばりたいと思います。また、分からないことばかりで、他の病棟スタッフの方にもご迷惑をかけると思いますが、よろしくお願致します。

ストレスケア病棟 / 看護師 麓 志津美



熊本地震で被災された方々も療養されており、精神科看護の実践の場から少しでも復興に貢献させていただければと思います。あこがれの看護師業務です。一日も早く皆様に信頼していただけるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願致します。

新しいスタッフが
加わりました!

New Face

新入職員紹介



医師 / 大嶋 悠太

4月から非常勤で勤務をしています大嶋と申します。主に水曜日の外来を担当しています。もうすぐ2歳になる息子の育児に奮闘中で、7月に娘が生まれる予定です。趣味は楽器演奏(クラリネット)で、医学生時代は度々病院や施設での慰問演奏を行っておりました。皆さまが健やかな生活を送るためのお手伝いができるよう、日々の診療に励んでいます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

病棟ヘッド / 森田 晋介

昨年12月よりA病棟ヘッドとして勤務しております、森田と申します。当院には2008年からお世話になり、11年目となります。病棟ヘッドとなり5ヶ月が経過しましたが、まだまだ余裕がなく、日常のヘッド業務を遂行することが精一杯の状態です。先輩ヘッドと比べて年齢的にも若く、経験値も多くはありませんが、海外で“美しい調和”と訳される、「令和」の新時代に相応しい病棟づくりを目指していきます。また、一医療者としても、貪欲にスキルアップを目指し、多くの場面で皆様のお役に立てればと考えています。どうぞ宜しくお願いします。



病棟チーフ / 宮崎 恵

昨年12月より1病棟2階チーフに就任しました。根が明るく楽しいことが大好きなのでよく笑います。当病棟はトラウマを抱えている方や、うつ症状で休養されている方などが主で年齢層も幅広いです。そんな患者様との日々の関わりの中で、時には辛い気持ちに寄り添いながら、時には皆で大笑いしながら共に過ごしています。患者様の笑顔が私の元気の源です。これからもスタッフ一丸となって患者様がホッとできるような病棟づくりを目指します。



Introduction

かんたんレシピ

「おからパウダー」とは？



おからを乾燥させてパウダー状にしたものです。原料である大豆はダイエットに良いことがよく知られていますが、女性ホルモンに似た働きを持つ大豆イソフラボンを摂取することができます。

イソフラボンはコレステロールの上昇を抑えたり骨からカルシウムが溶け出すのを防ぎ、動脈硬化や骨粗鬆症の予防や改善に効果があるといわれています。また、抗酸化作用による美容やアンチエイジングの効果も期待できます。

おからパウダーを使ったレシピ「簡単ヘルシーライフ」



- ハンバーグ [パン粉の代用] 挽肉300g + おからパウダー 1/2カップ
- ポテトサラダ [混ぜるだけ] じゃがいも 中2個 + おからパウダー 1/4カップ + 水60cc
- 味噌汁 [混ぜるだけ] だし汁 150cc + おからパウダー 大さじ1杯
- ヨーグルト [混ぜるだけ] ヨーグルト + おからパウダー お好みの量

POINT おからは賞味期限が短く使用しにくい点がありますが、乾燥のおからパウダーは手軽に使用することができます。ぜひ試してみてください☆
 その他パウンドケーキ、ホットケーキ、玉子焼き、お好み焼き、ご飯やお粥へ混ぜてもOKです！

編集後記

表紙のカットは、訪問看護ステーションクレインのスタッフです。こんなユニフォームを着て患者様のお宅に訪問させていただいています。少しずつお問合わせや、利用される方も増えています。こころの安定に少しでも寄与できるよう、ケアさせていただきます



認知症サポーター研修

今回「認知症の人と家族の会熊本県支部」の空閑節子様にお話ししました。サポーター研修の内容に加え、ご支援されたご家族との関わりなどについてもお話いただきました。ご家族の想いもしっかりと受け止めていかなければならないと改めて実感いたしました。

平成31年 4月

できごと / こんなことがありました



熊本赤十字病院災害対応訓練参加

平成31年 3月

昨年に引き続き、熊本赤十字病院災害対応訓練に参加させていただきました。今回は益城病院様、希望ヶ丘病院様のDPAATの方々も参加され、とても心強く感じました。訓練をとおして、DPAATとしてこれまで以上に他の災害医療チームと連携が深まり、有事の備えとなればと願っています。(益城病院DPAATのみなさんと撮影させていただきました)



訪問看護ステーションクレイン開設

令和元年5月1日、「訪問看護ステーションクレイン」を開設いたしました。医療法人仁木会として設置する2つ目の事業所です。これまで病院の精神科訪問看護は実施してまいりましたが、訪問看護ステーション設置に至ったきっかけは、熊本地震の経験でした。発災後、特に地域包括支援センターや介護支援専門員などご支援にあたっていらっしゃる方々とのかわりや、災害派遣精神医療チーム(DPAT)での活動を通して、メンタルヘルスの専門職が地域で直接支援することの重要性を痛感したためです。さらに、地域包括ケアの推進が叫ばれ、地域の医療・保健・介護・福祉の機関との連携や、地域移行・地域定着の取り組みが求められており、アウトリーチ機能の強化は必然の流れといっても過言ではなく、訪問看護ス

テーションの機能を活かした在宅支援・ケアの提供が急務と考えたことによりです。開設にあたって熊本県看護協会・熊本県訪問看護ステーション連絡協議会はじめ、主に熊本市東区の医療機関・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション等へご挨拶させていただきました。多くの方から叱咤激励を賜りましたが、地域の方々の安心に寄与することを前提とした運営を図らなければならないと強く認識した次第です。精神科病院が訪問看護ステーションを設置する意義は大きく、多様なケアや支援が展開できるのではと考えています。これまでの実績と経験をもとに、クレインの「強み」を活かし、他機関、訪問看護ステーション等と積極的な連携を図り、在宅ケアのニーズにしっかりと対応いたします。

ICTの活用

アウトリーチや地域包括ケアのためにはICTの活用が必須と考えます。介護業務支援ソフトとタブレット端末の導入、クレインとニキハーティーホスピタル間(拠点間)のVPN、さらに独自のデータベースを開発し、安全かつ効率的な情報システムを構築しました。

SPECIAL THANKS!

- 医療法人ソレイユ エール訪問看護ステーションの皆様
- 株式会社プラスワン様 介護業務支援ソフトSmileOneを導入いたしました
- 株式会社アートプロセス様 クレインのロゴや各種デザインをお願いしました

訪問看護ステーションクレインの「主なミッション」

- ニキハーティーホスピタルの退院患者様・通院患者様の地域移行・地域定着支援
- 医療・介護・福祉機関・事業所との連携による在宅ケア
- 認知症の方の訪問看護・介護予防
- 熊本地震に被災された方へのメンタルヘルスケア
- 産科医療機関や行政等と連携した女性のためのメンタルヘルスケア

部門紹介 / 薬務課



私たち薬剤師は、処方された薬の用量は適切か、薬の効果が最大限に発揮できるように飲むタイミング・飲み合わせに問題ないか、過去に合わなかった薬が再び処方されていないか、医師とダブルチェックしています。正しく服薬できるよう、患者様の希望に応じて、用法ごとに一包化したり、服用日を印字・またその文字サイズを大きく印字することもできます。医師は薬の効果を判定し、薬剤師は問題となる副作用が生じていないかを確認する役割があるように思います。眠気、だるさ、便秘など不快感を我慢されていませんか?患者様自らが医師と相談しながら、薬を減らしたり変更することで軽減できるかもしれません。ご自身で納得して服薬できるよう、支援いたします。

薬務課課長 薬剤師/村上 陽子